

特色ある観光りんご産地の形成

県北農林事務所常陸大宮地域農業改良普及センター

常陸大宮地域農業改良普及センターでは、JA常陸大子町りんご部会を対象に、大子町で育成された新系統りんご「奥久慈宝紅（おくくじほうべに）」の普及拡大を図るとともに、主力品種「ふじ」の高品質果実生産指導を行い奥久慈りんごの品質向上に取り組みました。また、産地の女性農業者を対象に、直売所での販売力アップやりんご加工について支援し、産地ブランド力の向上に取り組みました。

新系統りんごの普及拡大

新系統りんご「奥久慈宝紅」の品種特性を明らかにし、消費者への試食アンケートを実施したことが、部会での普及拡大の契機となりました。部会員への導入については、山間地帯特産指導所と連携して、穂木の配布やりんご青年部の苗木育成の取り組みを支援し、部会の90%に普及が進みました。既に導入のある生産者には個別で栽培指導を行うことで、平成29年度は3戸で販売が開始されました。



(左) りんご「奥久慈宝紅」果実
(右) 高接ぎ果実の品質検討会
(左下) オリジナルデザインでの商標登録（7月7日付）

『奥久慈りんご』の品質向上

摘果講習会や夏期管理検討会では、チャバネアオカメムシのフェロモントラップを用いた発生消長データを基に栽培指導を実施し、「ふじ」収穫前の全園での立毛巡回指導等を行った結果、果実の着色向上及び病虫害被害の低減が図られるなど、高品質果実生産につながりました。また、平成28年12月に大子町産りんごを国際宇宙ステーションに届けられるよう支援を行い、産地PRの活性化に寄与しました。



(左) ふじ果実品評会



(右) JAXAを表敬訪問

女性で盛り上げる

大子町のりんご園で販売の主力を担う女性農業者を対象に、農村女性大学講座を開催しました。内容は、直売所でのりんご販売力アップを目的としたポップ作成講座、農産加工の衛生管理、りんごを無駄なく活用するための加工講座等です。各園における集客力向上が図られるよう支援を行い、専門家から、より実践的な技術を学ぶ機会となりました。



平成29年度農村女性大学講座
【JA常陸大子町りんご部会女性農業者対象】

(上) 直売所販売用ポップ作成講座



(下) りんごジャム等加工講座